



帯広市の全ての市立学校がコミュニティ・スクール（CS）になりました

帯広市教育委員会では、令和元年10月より順次CSの導入を進めてきました。CSは「どのような子どもを育てるのか」という目指す子ども像を学校・家庭・地域が共有し、その実現に向けて連携・協働していく取り組みです。

帯広市CS通信（Vol.8）でお知らせしたとおり、本年10月に、新たに12校でCSを導入し、市立高校も含めて40校がCSとなりました。

道内主要市の中でも3番目にCSの数が多く、この特徴を活かし、各CSの取組や運営における課題などを共有し、帯広市全体のCSの充実・発展に繋がられるよう、工夫を重ねて進めていきます。

【令和4年10月導入校】

- 柏小 ○光南小 ○稲田小 ○栄小 ○広陽小 ○明和小 ○森の里小
- 第四中 ○第八中 ○南町中 ○西陵中 ○緑園中

頑張るぞー！



研修会を実施しています

帯広市教育委員会では、CSの意義や学校と地域とを繋げるコーディネーターの役割について理解を深めるため、研修会を開催しています。今年度は、8月と11月の2回実施しており、120名以上の方が参加されました。



十勝教育局
社会教育主事 田尾様

「CSになったけど何をしたらよいのかな？」そんな疑問に対し、制度の趣旨や具体的な視点から、わかりやすく説明していただきました



帯広市青少年センター
指導員 垂井様

研修会に参加された皆様で、各地域の課題や取組みについて情報交流を行いました



高齢化・コロナ禍・ICT化など、常に変化する社会において、地域コーディネーターとして身に付けておくべき知識や求められる役割について、説明していただきました



帯広市学校支援
アドバイザー 保前様

CS協議会の熟議の基本となる「学校運営方針」について、元小学校長・認定こども園長の経験を活かし、説明していただきました

帯広第一中学校CS協議会の取組みをご紹介します

令和3年10月にCS協議会が発足したことを機に「目指す子ども像」を『心豊かであくましく、主体的に考え行動する一中生』と定め、これまで以上に、学校に対する様々なご支援、ご協力をいただいています。

今年度は、CS協議会と各種地域団体や学校支援団体、ボランティアのみなさまにお集まりいただき、CSについての考え方や、これからの学校との連携・協力についてご理解をいただきました。

また、CSコーディネーターの方々を中心として、重複している事業や連携できる事業については合同で実施したり、活動内容の精選・統合・廃止・継続等の調整を行っていくことを確認しました。

これらの取組により「各団体やボランティアの方々の高齢化が進み、なかなか世代交代が進まない」といった課題が解決されることも期待しています。

ボランティア活動は楽しいけれど、一緒に活動する新しい人がなかなか増えないんだよね・・・



活動内容を精査しながら一緒にできることは協力してやりましょう

【発行・問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 教育総務室 学校地域連携課

TEL：0155-65-4162

Email：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp

帯広市 コミュニティ・スクール

検索



(令和4年12月5日発行)

